

講演番号を
事務局にて貼り
込みます

30mm 以上空白

(タイトル1行目)

左余白
15mm

↑
上余白 20mm

LIFE2020-2021 2021年9月16日-18日 富山 (富山大学)

講演論文原稿の書き方 [ゴシック/Arial 12pt] [間隔1行+空白0.5行]

English Title [Times New Roman 12pt] [間隔1行+空白0.5行]

○ 生活太郎 (LS 研) 福祉花子 (機械大) [明朝 11pt] [間隔1行]

Taro SEIKATSU, LS Research Institute [Times New Roman 10pt] [間隔1行]
Hanako FUKUSHI, Kikai University

Abstract: Abstract of proceedings for the Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support must be written in English and less than 150 words. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support. The Assistive Technology, Bio Medical Engineering and Life Support.

Key Words: Wellbeing Science, Life Support, Welfare Engineering [Times New Roman 10pt] [間隔1行+前後空白1行]

1. 大見出し [ゴシック/Arial 9pt]
1-1 中見出し [ゴシック/Arial 9pt]

原稿用紙は A4 判の白紙に上下各 2cm, 左右各 1.5cm の空白をとってください。

表題は 12 ポイント (4.5mm) の文字を使用し, 1 ページ目の上中央に邦文 (ゴシック/Arial)・英文(Times New Roman)の順にお書きください。1 ページ目左上端には, 後日事務局にて講演番号を貼り込みますので, 空白としてください。余白サイズの変更は行わないでください。

邦文氏名は明朝体 11 ポイントの文字を使用し, 氏名の右に所属を丸かっこで囲んで略記してください。連名の場合には講演発表者の前に○印をつけてください。英文氏名および所属は, Times New Roman 10pt の文字を, Abstract, キーワードも Times New Roman 10pt の文字を使用してください。

1-2 本文

本文は原則として明朝体 (あるいは Times New Roman) 9 ポイントの文字を使用してください。文章は 2 段組とし, 中央に 1cm の空白を設けてください。

1 段 26 字, 一列 60 行となるように, 文字間隔ならびに行間隔を設定してください。(1 ページ約 3120 文字)

本文で文献を引用する時は, 文章の右肩に小括弧を付した番号を記入してください⁽¹⁾。文献は末尾にまとめてください。

2. 図表

図表のタイトルならびに説明は英文 (図表内を含む) で記載してください (例を参照)。図表は縮小しすぎると文字が読みにくくなりますので, ご注意ください。

Table 1 Table title

Number	Age	Weight	Height	Disabilities

3. 枚数

原稿枚数は A4 版用紙 2~4 枚としてください。

4. 原稿提出方法

講演論文原稿は PDF ファイル (カラー可) に変換・メールに添付し, 送信してください。

- 変換された PDF ファイルに関しては, 以下の点をご確認ください。
- 環境依存の文字化け等を防ぐため, PDF ファイルにフォントを埋め込みこんで下さい。
- 図表等が十分な品質となるように留意ください。必ず印刷して図の解像度などをご確認下さい。
- ファイルのサイズは 3MB 以内にして下さい。
- 空白ページ等余分なページを付けないようにして下さい。
- テンプレートを使用する際, 余白などを指示している青文字の参考情報 (矢印, 等) は削除をお願いします。

左余白 15mm 本文 85mm 中間 10mm 本文 85mm 右余白 15mm

・原稿枚数: 2~4 枚
・原稿提出締切: 2021 年 8 月 20 日 (金) ※延長できません。ご注意ください。
・提出方法: 原稿ファイルを PDF 形式 (カラー可) に変換し, 講演申込受付 Web の投稿フォームより入稿してください。

Fig. 1 Figure caption

↓
下余白 20mm

本大会 LIFE2020 は、人の生命・生活を維持・向上させるための、生命関連分野、リハビリテーション・生活支援分野、生体計測・制御分野等における技術研究開発、利用技術に関する講演・発表をもって、社会貢献することをめざし、3学会(日本生活支援工学会、日本機械学会、ライフサポート学会)で合同の学術講演会を開催してまいりました。これは、研究開発側とユーザ側の相互交流を通じて、分野横断的な技術の融合を促進する場を提供するものです。さらに、学術・研究機関のみならず、医療機関・福祉介護施設や企業からの参加・会合を促進することによって、参加者が社会に根付く医工学機器の研究開発に向かうべく技術意識の高揚を目指しています。

本大会が取り扱う主な分野は下記の通りです。

- ・福祉・リハビリテーション応用
移動支援機器・歩行支援機器・車いす・義肢装具・いす・福祉車両・福祉ロボット・パワーアシスト・福祉用具の設計・福祉リハビリテーション機器等
- ・生活支援
介護支援・在宅医療支援・訓練支援・就労支援・移動支援・感覚代行・コミュニケーション支援・情報支援・遊具・スポーツ・バリアフリー化・福祉建築・育児支援・生活支援技術一般
- ・生命支援
臨床検査・診断支援・治療支援・手術支援・人工臓器・再生医療・医用材料・救急医療・細胞工学・生命支援一般
- ・生体計測・制御、要素技術
生体計測・運動計測・画像処理・センサ・生体制御・電気刺激・アクチュエータ・ロボティクス・バイオメカニクス等
- ・基盤技術
安全性評価・福祉デザイン・環境評価・研究者倫理・実験倫理・標準化等

参考文献

- (1) 著者名1, 著者名2, 論文タイトル, 論文誌名, Vol. xx, No. xx, pp. xxx-xxx, 2009.
- (2) A. Author, B. Author and C. Author, Paper Title, Journal of Journals, Vol. xx, No. xx, pp. xxx-xxx, 20xx.